



こんなまち、あんなまち 市民が語る このまちの未来 ～第五次土岐市総合計画策定に向けて～

地区懇談会と意見募集の結果をお知らせします

第四次総合計画の計画期間が平成17年度で終了することから、平成16・17年度の2カ年で、平成18年度から向こう10年間を計画期間とする第五次総合計画を策定します。

計画の策定に当たっては、各地域の各界各層の市民の方々の意見を十分にお聞きするため、市内8町で1回ずつ地区懇談会を開催するとともに、本紙10月1日号で、「第五次土岐市総合計画への提言」として意見募集を行いました。地区懇談会にご協力いただいた皆さん、意見をお寄せいただいた皆さん、ありがとうございました。

今回は、その意見・提案などの一部をご紹介します。



▼地区懇談会での提案・意見▲

お寄せいただいた

「第五次土岐市総合計画への提言」

- 骨格道路整備
 - 土岐パークウェイ・都市間連絡道路の整備
- 生活道路整備
 - 土岐足助線（妻木地区）バイパス・土岐市停車場細野線（曾木地区）・庚申山神線の整備
- 交差点改良
 - 中央道土岐インターと21号、県道武並・土岐・多治見線（土岐津地区）の交差点改良
- 歩道整備
 - 土岐市停車場細野線（曾木地区）・土岐津小付近・陶史の森付近などの歩道整備
- 公共交通整備
 - コミュニティバスの充実
- 公園整備
 - 親水公園の整備、機能廃止ため池の公園化、城山の修景整備（土岐津地区）
- 河川整備・農業集落排水整備
 - 河川整備、農業集落排水の整備
- 肥田川の整備、農業集落排水の整備

住宅・住宅地整備

人口増加のための住宅・住宅地整備、妻木南部区画整理の推進

駅周辺地区整備

街路整備、再開発計画・都市計画道路（久尻河合線）の見直し、市として全体像の提示、住民増加策の推進

情報基盤整備

おりべネットワークの整備（濃南地区）

お寄せいただいた 「第五次土岐市総合計画への提言」

福祉・医療



▼地区懇談会での提案・意見▲

高齢者・障害者・福祉

老人パワーの活用（生きがい・まちづくり）、高齢者・障害者にやさしいまちづくり、老人デイ・ショートステイサービス施設の整備、高齢者利用施設を市街地に

子育て支援

学童保育の充実、幼稚園・保育園の一元化、児童館の整備など子育てしやすいまちづくり

医療

医療機関の整備（曾木地区）、土岐口温泉を利用した医療設備の整備、医療費の助成の充実



△若い人が安心して働くことができるよう、子どもを預けられるベビールームを設置する。△〇歳からの子どもと親ができる公園や、自由に入ることができる遊戯室などの整備をする。

五十四歳・女性（下石町）

△学童保育所の設置など、次世代を担う子どもたちに対するさまざまな政策をもっと打ち出してほしい。

四十五歳・女性（土岐津町）

△障害者（身障、精神、知的）の在宅支援ネットワーク化を図り、地域の中で支援するとともに、処遇検討会などを敏速な対応ができるようにする。

四十九歳・女性（土岐津町）

△市立総合病院の二十四時間オープン。△会計時の待ち時間短縮のために、診察券と支払いの銀行カード一枚にしたもので代金を清算するなど対策を考え、薬の引き換えを早くしてほしい。

六十三歳・男性（土岐津町）

△お年寄りが社会の一員として元気に暮らせるために、散歩道を各町に整備したり、温水プールをつくるなど運動しやすい環境を整える。また、毎間に趣味の講座をたくさん開くなど、お年寄りの生涯学習にも力を入れてほしい。

年齢・性別不明（肥田町）

産業振興



▼地区懇談会での提案・意見▲

産業振興

産学官による産業の活性化、地場産業支援策強化、市内工業組合組織化支援、窯業学校の設立

観光振興

史跡・産業観光によるまちづくり、地場産業の遺産（廃業した施設）の保存、シャトルバスの市内観光施設のルート化、中馬街道整備、道の駅整備、クアハウス曾木と土岐口温泉の特色化

来訪者対策

土岐プレミアム・アウトレット来場者への市街地誘導策実施、来訪者誘導のためのサイン整備、観光施設の駐車場整備

景観整備

やきものを使ったまちの景観整備など

商業振興・雇用対策

商業地域の固定資産税引き下げ、若者の働く場の確保

農業振興

農業振興地域の振興、休耕田の活用

お寄せいただいた

「第五次土岐市総合計画への提言」

△駅前が淋しいので、例えば旧家の歴史的な道具などを寄付、貸与していただき、市の歴史館を駅近くにつくつてはどうか。併せてお値打ちなオープンカフェをつくるなど、総合的にまちづくりを設計してほしい。まず駅前が魅力的になり、陶史の森・元屋敷・陶芸で遊び、温泉に入つて一日楽しめるようになれば活性化するのではないか。施設の周辺にはお茶屋さん、お土産屋さんも必要。お年寄りはボランティアなどに対しても関心があるので、そうした力を活用したらいいのでは。

六十歳・女性（泉町）

△「織部の里」の活性化を図つてもういたい。市民に愛されている「織部の里」を多くの人が来て土岐市にはこなんないところがあつたかといわれるようにしてほしい。
①織部の里、里長（さとおさ）を任命する（有給）。
②織部の里の説明案内を充実する。
③陶芸家育成のため、全国へ陶芸留学生を募集する。
④地元陶芸家の作品を展示販売。
⑤公用車の貸与。
⑥土岐市駅からの案内板設置。
⑦食堂、土産屋をつくる。

七十五歳・男性（泉町）

△空き店舗をなくすための一坪ショップ（小さな店で一ヶ月の家賃が一～三万円ぐらじ）をつくる。

五十四歳・女性（下石町）

特集

こんなまち、あんなまち
市民が語るこのまちの未来

▼地区懇談会での提案・意見▲

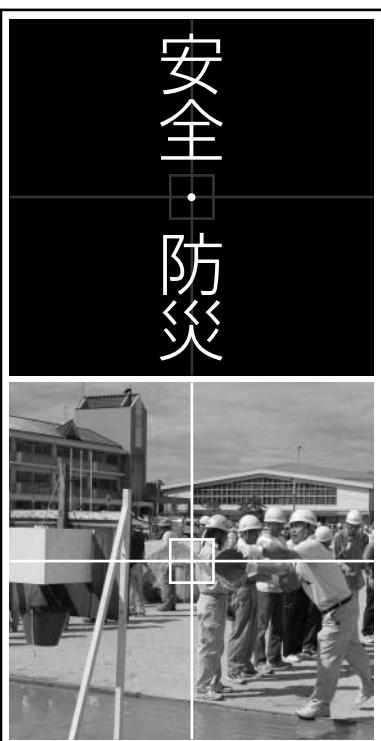
防犯

駅前派出所の警察官の常駐、青少年犯罪防止のための各種団体の連携強化

防災

防災体制の整備、防災無線の整備・更新

消防中核拠点施設整備、濃南分駐所の体制強化



▼地区懇談会での提案・意見▲

地域活動

まちづくり組織・ボランティア・NPOなどの団体の育成と活動支援、人材の発掘、連合婦人会の強化

行政運営

公共施設の有効性点検・統廃合、事業の民営化、職員削減

人口増加策

転出者呼び戻しの具体策の研究



お寄せいただいた

「第五次 土岐市総合計画への提言」

- ▽東海環状自動車道やアウトレットなどができるのは、楽しみな反面、交通量の増加に伴う事故や公害、治安の悪化などが心配。安全なまちを構築してほしい。
四十三歳・女性（土岐津町）
- ▽広報とき（防災無線）の放送がよく聞こえないの、改善してほしい。
年齢・性別・住所不明

お寄せいただいた

「第五次 土岐市総合計画への提言」

- ▽自然を残しながら、陶器のまちらしいまちづくりを進めてほしい。
▽スポーツを通じた健全なまちづくりや、陶芸などの芸術・美術を通じたまちづくりを進めてほしい。
四十四歳・男性（肥田町）
- ▽自然を生かした公園・まちづくり、お金をかけないまちづくりを進めてほしい。
- 六十一歳・男性（泉町）

教育・文化



▼地区懇談会での提案・意見▲

学園都市

先端医療・福祉の学校の設立

学校（子ども）と地域

地域の伝統・特色を知るため地域社会との関わりを持たせる機会の提供、世代間交流の活性化

学校教育

社会の多様化・国際化に対応した教育の充実（パソコン、交換留学など）、英語教育の充実（幼稚園から）、小学校の単式での存続（曾木地区）

生涯学習

公民館整備、文化クラブの創設

スポーツ振興

総合型地域スポーツクラブの拠点整備、老人向け軽スポーツ施設の整備



お寄せいただいた

「第五次土岐市総合計画への提言」

▽地域ぐるみの子育てを目指し、老人ホームと保育園が同じ敷地内に建ち、老人と子どもが自然に交流を持つようにする。
三十三歳・女性（妻木町）

▽子どもたちの公園（草野球ができるような）がもっとたくさんあるようなまちづくりを考えてほしい。
四十一歳・女性（肥田町）

▽スポーツジム、温水プールなどを備えた健康施設をつくり、お年寄りも若者もまた幼児も、和気あいあいと楽しく健康増進ができるらしい。六十二歳・男性（泉町）

年齢・性別不明（肥田町）

▽図書館とその駐車場を拡充してほしい。また、本だけでなく、ビデオやCDの貸し出しも行ってほしい。

年齢・性別不明（肥田町）

土岐市総合計画審議会の公募委員が決まりました

本紙十月一日号で募集した土岐市総合計画審議会委員が次の方々に決定しました。

後藤進平さん・七十一歳（肥田町）

高井哲雄さん・五十四歳（泉町）

市では、皆さんからお寄せいただいた意見を参考にして、土岐市総合計画審議会に諮り、素案を作成する予定です。第五次土岐市総合計画についてのご意見・ご質問は、総合政策課（内線211）へどうぞ。

特集

こんなまち、あんなまち
市民が語るこのまちの未来